

# スポーツ文化研究会の記録

第一回 二〇一一年五月一四日

金田英子（東洋大学）

第二回 二〇一一年七月二日

神田俊平（日本体育大学大学院）

「日本におけるリゾート史に関する研究―長野県丸池スキー場に注目して―」

金子元彦（東洋大学）

「日本における障害者スポーツの歴史的変遷―指導法に着目して―」

第三回 二〇一一年一〇月二二日

大家千枝子（高崎健康福祉大学）

「わが国における健康文化の生成過程に関する人類学的研究」

小谷究（日本体育大学大学院）

「日本におけるバスケットボール競技のファイブメン・デイフェンスに関する史的的研究」

第四回 二〇一一年二月一〇日

張巧鳳（日本体育大学大学院）

安則貴香（東洋大学）

第五回 二〇一二年一月二八日

安則貴香（東洋大学）

坂本太一（日本体育大学大学院）

第六回 二〇一二年二月二五日

安則貴香（東洋大学）

坂本太一（日本体育大学大学院）

第七回 二〇一二年四月二八日

小谷究（日本体育大学大学院）

第八回 二〇一二年六月三日

安則貴香（東洋大学）

金子元彦（東洋大学）

第九回 二〇一二年九月二九日

大家千枝子（高崎健康福祉大学）

松尾順一（東洋大学）

第一〇回 二〇一二年一月一〇日

坂本太一（日本体育大学大学院）

第一一回 二〇一二年二月二二日

石井隆憲（東洋大学）

「ベトナムにおける空手の形成―当事者側の歴史認識に注目して―」

第一二回 二〇一三年二月二日

谷釜尋徳（東洋大学）

第一三回 二〇一三年三月二日

安則貴香（東洋大学）

神田俊平（日本体育大学大学院）

## 第一四回 二〇一三年四月二十日

小谷究（日本体育大学大学院）

金子元彦（東洋大学）

## 第一五回 二〇一三年五月一八日

金子元彦（東洋大学）

張巧鳳（日本体育大学大学院）

## 第一六回 二〇一三年六月二二日

※スポーツ史学会組織委員会

## 第一七回 二〇一三年一〇月三日

小谷究（日本体育大学大学院）

## 第一八回

## 第一九回

## 第二〇回 二〇一四年三月一日

尾川翔大（東洋大学ライフデザイン学部）

「一九四〇年東京オリンピック招致活動に関する史的考察—嘉納治五郎が果たした役割に着目して—」

小谷究（日本体育大学大学院）

「日本におけるバスケットボール競技のコーチに関する史的研究（一九一〇年代末期—一九四〇年頃）—ルールに規定されたコーチングに着目して—」

## 第二一回 二〇一四年五月二四日

田邊元（早稲田大学大学院）

「民俗芸能として伝承される武術の伝承組織に対する一考察—「上川原神道香取流」を事例として—」

坂本太一（岐阜薬科大学）

「近代日本における剣道具の変遷—特許資料に着目して—」

## 第二二回 二〇一四年七月五日

久保山和彦（日本体育大学）

「興味—自己紹介として—」

## 第二三回 二〇一四年十二月三日

矢野裕介（日本体育大学）

「大日本帝国剣道形の増補加註に関する新史料の発見とその意義」  
綿貫慶徳

「明治三十年代における新聞ジャーナリズムの中のスポーツ—大阪毎日新聞の分析をとおして—」

## 第二四回 二〇一五年四月二二日

坂中勇亮（東京都中央区体育協会）

「都心部におけるスポーツ少年団活動についての一考察—東京都中央区を事例として—」

金田英子（東洋大学）

「ミャンマーの公衆衛生事情」

## 第二五回 二〇一五年五月二三日

尾川翔大(東洋大学大学院)

「第一次世界大戦から昭和初期における嘉納治五郎の体育・スポーツ政策観―体育運動審議会及びオリンピック・ムーブメントに関する言説に着目して―」

杉山千鶴(早稲田大学)

「モダンダンスの育成システム―藤井公(一九二八―二〇〇八)・利子(一九三七―)を事例として―」

## 第二六回 二〇一五年六月二七日

福地豊樹(群馬大学)

「『学校体操教授要目』(一九一三年)の体操実施の実態は如何なるものだったのか―群馬県の体操重点校在籍者への聞き取り資料の検討を通じた考察―」

## 第二七回 二〇一五年七月二五日

石井隆憲(日本体育大学)

「実践感覚がもたらす理解」

杉山千鶴(早稲田大学)

「踊る身体が獲得したものの」

## 第二八回 二〇一五年九月二六日

大沼義彦(日本女子大学)

「オリンピック・レガシー論の陥穽―平昌オリンピック準備の事例から―」

## 第二九回 二〇一五年十一月七日

金子元彦(東洋大学)

「日本の身体障害者スポーツ指導者養成制度の発足と発展(一九六六―一九七三)」

久保山和彦(日本体育大学)

## 第三十回 二〇一五年十二月二三日

松本秀彦(日本体育大学)

「サンボについて」

## 第三一回 二〇一六年二月二七日

尾川翔大(東洋大学大学院)

「戦間期における嘉納治五郎の体育・スポーツ政策観―文部省との体育・スポーツ政策観との比較を通して―」

## 第三二回 二〇一六年四月二三日

神田俊平(日本体育大学大学院)

「大正期におけるスキー大衆化に関する研究―スポーツ雑誌の分析を中心に―」

## 第三三回 二〇一六年六月二五日

梅津恒介

「剣道と全日本剣道演武大会について」

小谷究(日本体育大学)

「日本のバスケットボール競技におけるストーリーリングの採用過程に関する研究」

第三四回 二〇一六年七月三〇日

石井隆憲（日本体育大学）

「資源としての民族スポーツ―ミャンマーの民族スポーツ「チロン」の事例から―」

第三五回 二〇一六年十一月五日

尾川翔大（日本体育大学大学院）

「体育行政の主管をめぐる文部省の主張の意図―内務省との関係性に着目して―」

星野映（早稲田大学大学院）

「『柔道帝国』フランス―第二次世界大戦後のフランスを基点とした柔道の伝播―」

第三六回 二〇一七年六月一七日

古澤伸晃（日本体育大学）

「オーストラリア剣道における指導文化の変容過程―ナショナルチームの事例を中心として―」

大家千枝子（高崎健康福祉大学）

「健康文化としての特定健康診査・特定保健指導に関する歴史・人類学的研究」

第三七回 二〇一八年三月二四日

松尾順一（東洋大学）

「ドイツにおける中世と近代の運動祭について」

第三八回 二〇一八年六月三三日

福地豊樹（元群馬大学）

「器械運動に関する研究を通して考える身体運動文化の意味―なぜ、器械運動領域の学習が必要なのか―」

第三九回 二〇一八年六月三三日

尾川翔大（日本体育大学大学院）

「政党内閣期におけるスポーツ政策に関する歴史学的研究」

第四〇回 二〇一九年六月八日

尾川翔大（日本体育大学）

「リスクとスポーツに関する研究の分類と現状―日本の研究の場合―」

時田瞳（日本体育大学大学院）

「オリンピック競技大会におけるメディア表象に関する研究―二〇一八年第二三回オリンピック冬季競技大会（平昌）を事例として―」

第四一回 二〇二〇年九月五日

金子元彦（東洋大学）

「日本における公認身体障害者スポーツ指導者制度の発足に至る史的展開と講習会の変容に関する考察（一九六六―一九八五）」

尾川翔大（日本体育大学）

「谷釜了正先生とスポーツ歴史学」

## 第四二回 二〇二〇年一月七日

綿貫慶徳

「大阪府立図書館の草創期における体育・スポーツ書の所蔵状況」

尾川翔大（日本体育大学）

「母校の校歌になったオリンピックアナーナショナルリティとローカリティー」

## 第四三回 二〇二一年一月九日

合評会『スポーツ人類学——グローバルバリエーションと身体』

（共和国、二〇二〇年）

趣旨説明・石井隆憲（日本体育大学）

司 会・尾川翔大（日本体育大学）

コメント・松浪稔（東海大学）・松浪登久馬（日本体育大学）

田箕健太郎（流通経済大学）・大沼義彦（日本女子大学）

大学）・永木耕介（法政大学）

リプライ・川島浩平（早稲田大学）・石井昌幸（早稲田大学）

窪田暁（奈良県立大学）・松岡秀明（元大阪大学）

ゲスト・ニコ・ベズニエ（アムステルダム大学）

## 第四四回 二〇二一年五月八日

小川剛史（早稲田大学大学院）

「ヨハン・クライフから見たカタルーニャアイデンティティの考察」

## 第四五回 二〇二一年七月一日

関口雄飛（日本体育大学学院）

「第一回日本厚生大会（一九三八）と東京市」

## 第四六回 二〇二二年九月一日

合評会『日本の体罰——学校とスポーツの人類学』（共和国、二〇二二年）

司 会・尾川翔大（日本体育大学）

コメント・中澤篤史（早稲田大学）・松田太希（暴力問題相談センター）

リプライ・石井昌幸（早稲田大学）・坂元正樹（神戸市外国語大学）・志村真幸（南方熊楠顕彰会）・中田浩司（宝塚医療大学）・中村哲也（高知大学）

## 第四七回 二〇二二年一月二〇日

シンポジウム「大学を拠点としたスポーツの歴史資料の利活用——教育・研究への還元に向けた課題——」

司 会・綿貫慶徳

富田幸祐（日本体育大学オリムピックスポーツ文化研究所）

「ヒストリアン、サーキュレイター、アーキビスト（仮）」

宮原柔太郎（日本体育大学図書館）

「本棚の中のスポーツ——日本体育大学図書館とスポーツ史研究」

## 第四八回 二〇二二年二月二六日

谷釜尋徳（東洋大学）

「『歩く江戸の旅人たち』を読む」

## 第四九回 二〇二二年六月二五日

尾川翔大（日本体育大学）

「メダリストにとつてのオリンピックアード——ロス五輪からベルリン五輪に向かう清川正二とその周辺——」

## 第五〇回 二〇二二年七月二三日

渡邊暎人（日本体育大学大学院）

「吉井四郎のバスケットボール理論に関する史的研究―現代バスケットボール指導のための基礎づけ―」

関口雄飛（日本体育大学大学院）

「戦時体制下大都市と厚生運動―日本厚生大会の開催に向けた市役所職員の動向に着目して―」

※不完全ではあるが記録しておくことに意味を見いだし、掲載することにした。（責・尾川翔大）